

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、求職者の減少傾向が続く一方で、求人数は増加傾向が続いていることから、就職件数と充足件数の増加に取り組むこととし、これらの目標を達成するために、紹介件数を増やすための取り組みを展開しました。求職者に対しては、求職者担当制による希望条件を踏まえた求人情報の提供、応募書類の添削や就職支援セミナーへの参加勧奨などを実施しました。求人者に対しては、求人者担当制による積極的なマッチング、魅力的な求人票の作成支援など重点的に実施しました。また、管轄内の事業所に関する情報を求職者にPRするために、事業所の採用担当者が求職者に直接自社の特徴をアピールする機会を作るためにコロナ感染防止に配慮しながら、少人数規模の「事業所説明会」を実施しました。結果として、前年度と比較し、紹介件数は18.1%減少、就職件数は17.9%減少、充足件数は17.4%減少しましたが、雇用保険受給者の早期再就職件数は513件（目標達成率97%）と目標に僅かに届かず、就職氷河期世代の不安定就労者の正社員就職件数は105件（目標達成率131%）と目標を達成しました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、全職員を対象に求職者サービス、求人者サービスの実施にかかる研修及び外国人雇用管理セミナーにかかる伝達研修を行いました。

さらに、若手職員を対象にPDCAサイクルの円滑な運営を行うための研修を実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者の利便を図り求職者自身による情報収集が容易になるように、ハローワークインターネットサービス、県内のハローワーク別の求人情報誌、それぞれのQRコードを作成し、ラベルシートを利用して求職受付票や雇用保険受給資格者証に貼付する取り組みを行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所の紹介就職者の約 5 割が管轄外事業所へ就職しており、特に隣接する鹿児島市や薩摩川内市に管轄内の労働者が流出している状況がみられます。管轄内に雇用管理に努力し採用意欲が高く、人手不足で困っている事業所が多数あることから、現在も実施している事業所説明会のさらなる充実を図り、一人でも多くの求職者に管内事業所へ目を向けていただけるような取り組みを実施していきたいと考えています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	—	—
実績	1,313	1,117	513	81.8%	105	3,171	650		
目標	1,525	1,256	527	94.2%	80	3,640	760		
目標達成率	86%	88%	97%	86%	131%	87%	86%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率